

おだか

第19号

2014

平成26年10月22日(水)

南相馬市

小高小学校

学校だより



鼓笛演奏



こわれた千の楽器

学習発表会においでいただきありがとうございました。子どもたちの練習の成果はいかがだったでしょうか。1年生の「開会の言葉」や2年生と一緒にいった音楽劇では、大きな声で精一杯演技できたようです。また、6年生は、最高学年として声に魂を乗せて、「大悲山大蛇物語伝説」を朗読してくれました。その他の学年も、落語の軽妙さ、楽器の役柄に合わせた演技、よさこいの力強い踊りなど、発達段階に応じたがんばりを見せてくれました。

学校では、この達成感を次のエネルギーにして、新しい学習に取り組ませたいと思っています。今後とも、ご家庭の応援をお願いいたします。

あの感動をふたたび



大悲山大蛇物語伝説



寿限無



力強く、エネルギーに



おいでいただいたみなさん



真夜中のバースディパーティー

学力の状況

今年の4月末に、6年生を対象に全国学力・学習状況調査が行われ8月末にその結果が届きました。テストを受けたのは本校の児童15名ですので、母集団が小さく数値だけの比較が適切かどうか

の問題もありますが、その結果についてお知らせします。

学力テストは、国語Aと国語B、算数Aと算数Bの4つのペーパーテストにより学力を調べます。「A」は知識に関する内容、「B」はその活用で問題が構成されています。結果は正答率で表され、全国や県のものと比較できます。一方、「学習状況調査」も行いました。これは、児童への質問により、家庭での生活習慣や学習状況、授業に向かう姿勢などを調べるもので、両方相まって、今後の授業の在り方や学習習慣の改善につなげる資料となります。

今回は、紙面の関係上、「学力の状況」についてのみお知らせします。(学習の状況については、次回の「学校だより」でお伝えします。)

《学力調査の結果》

【国語A：主として知識】

全国、福島県の平均正答率に比較し、やや高い状況です。特に、「聞く・話す」能力が優れています。正答率が低かった設問は、「情景描写の効果（人物の気持ちを周りの風景で書き表すこと）」の理解があります。



【国語B：主として活用】

福島県の平均正答率よりやや下回っていますが、全国とは同程度です。「聞く・話す」能力は高いものの、「読む」能力については、全国、県より下回っています。読む力を育てる必要があります。

【算数A：主として知識】

全国、福島県の平均正答率に比較し、やや下回っています。4つの領域別に見ると、図形領域のみ、全国、福島県を上回っています。正答率が全国や福島県より大きく下回った設問は、分数の大きさの比較に関する問題で、「提示された分数から1/2より小さいものを選ぶ」設問でした。



【算数B：主として活用】

全国、福島県の平均正答率に比較し、下回っています。4つの領域別に見ても同様です。このことから、活用する力が不足していたことが分かりました。正答率が全国や福島県より大きく下回った設問は、宿泊学習のスケジュールを調整する問題で、「食事、片付けの時間を見直して長く取った場合に、準備時間がどのくらいになるか計算する。」というものでした。また、「40人分の食事を分ける時、10人分の目安を正しく表している図をすべて選ぶ」という問題も正答率が低い問題でした。

個別の結果は、担任を通して、すでに個別懇談時に資料としてお渡ししています。